

平成20年度 魅力ある活動支援事業 実施報告書

学校番号	6	学校名	中野実業	高等学校
------	---	-----	------	------

事業目標テーマ

魅力ある専門高校づくりと新総合学科高校への橋渡し ～実学指導の充実および進路実現の支援～

節別執行額

8	報償費	34,400	円	12	役務費		円
9	旅費(旅費システム)		円	14	使用料・貸借料	43,000	円
9	旅費(財務オンライン)		円	18	備品購入費		円
11	需用費	222,600	円	合計		300,000	円

有効性総合評価

A: きわめて高い
B: 高い
C: どちらとも言えない
D: 低い

事業内容		実施内容(実施月)	生徒・保護者・地域住民・事業関係者等による評価	校長による評価	
				成果	課題
(1)	アーク溶接・ガス溶接技能者講習 執行額(円) 36,300	5月下旬にガス溶接技能者講習会・アーク溶接技能者講習会を2日間実施した。本校を会場に合計72名が受講、受講後挑んだ検定試験には受講者全員が合格した。	高校在学中に資格取得ができたことを生徒・保護者から高く評価されている。また外部講師(日本溶接協会長野県支部)からも積極的に取り組む姿が評価されている。	実社会で活用できる資格の取得を支援する専門高校の特色ある事業であり、成果もあがった。 有効性総合評価 A	日程上の制約はあるが、総合学科高校に移行しても積極的に取り組む方向で検討する必要がある。
(2)	第二種電気工事士講習 執行額(円) 42,300	第二種電気工事士資格取得希望者に対し、技能試験対策講座を7月中に10日間実施した。資格試験には5名が挑戦し4名が合格することができた。	資格に挑戦する過程で専門分野の理解度も深まり、受講した生徒には好評であった。既合格者の生徒にも補助員として講習に参加させ喜び合わせた。	より高度な資格取得への挑戦と合格は専門高校に課せられた課題であり、その責務の遂行に努めた。 有効性総合評価 A	総合学科の教育課程上困難は予想されるが、高度な資格取得に向けた学習活動を支援したい。
(3)	日本商工会議所簿記検定2級指導 執行額(円) 18,900	簿記専門学校編集の独創的な日本商工会議所簿記検定2級受験教材(講義DVD)を購入し、受験指導や指導者のスキル向上に活用した。	高度な資格取得に対する生徒の意欲・関心が高いので、今後も引き続きの指導が望まれている。購入教材は、生徒の意欲・関心を高めたとと思われる。	より高度な資格取得への挑戦と合格は専門高校に課せられた課題であり、その責務の遂行に努めた。 有効性総合評価 A	総合学科の教育課程上困難は予想されるが、高度な資格取得に向けた学習活動を支援したい。
(4)	EVカー(電気自動車)の作成および大会参加 執行額(円) 85,000	全国各地で開催された電気自動車レースや省エネカーレースの大会に7回参加した。特にワールドエコムーブ第5戦では4位入賞を果たした。	自作マシンで多くの大会に参加することで、他のチームから多くの技術を学び技術の向上に役立てることができた。地元企業からの技術支援もあり、成果があがっている。	専門分野で学習したことを実際の場面で活用する絶好の機会となっていて、有益な事業である。 有効性総合評価 A	材料・部品等が高価であり大会参加費用も増加していることから、予算の確保が課題となっている。
(5)	社会人講師の活用 執行額(円) 21,200	全日制では5月に「NPO法人マザーポートITながの」理事長による「身近なネットトラブル」と題した講演会を実施した。定時制では7月に助産師による性教育講座を実施した。	両講演会とも、受講した生徒から「思慮深く行動したい」「これから生きていく上で大切なことを学んだ」等前向きな感想が寄せられた。	様々な分野の専門家を招聘し普段学ぶことのできない学習の機会を設定し、効果もあがった。 有効性総合評価 A	次年度以降も本年度同様の確かな講師を選定し、様々な動機付けの機会となるよう実施したい。
(6)	キャリア講演会 執行額(円) 11,600	自分の将来や生き方を見つめさせる目的で、県内でぶどう栽培を手がける起業家による「信州に住んでいる幸福感」と題した講演会を10月に実施した。	中学卒業後海外で多くの体験をした後現在は農園を経営している講師のお話により、多くの生徒からは講師の積極的な生き様に共感する旨の感想が寄せられた。	働くことや学ぶことの意義を自覚させ前向きな進路意識を高めさせることができた。 有効性総合評価 A	次年度以降も本年度同様の確かな講師を選定し、積極的な動機付けの機会となるよう実施したい。
(7)	「課題研究」発表会および研究論文集の作成 執行額(円) 84,700	科目「課題研究」の学習成果のまとめとして研究論文集を作成した。また、発表会を地域公開授業として2月に実施し、地元民間事業所の経営者に講評をいただいた。	研究論文集は、学習実態や成果を見つめ直す材料となるとともに、今後の指導に役立つものとなった。公開授業とした発表会での講評でも高い評価をいただいた。	科目「課題研究」の目指す生徒が主体的・能動的に取り組む学習活動の充実に役立っている。 有効性総合評価 A	総合学科においても、課題解決型学習の充実とプレゼンテーション能力の育成指導を継続する。
公表・説明		学校評議員会で説明。 学校HP、PTA通信、生徒会誌等への掲載および地域情報紙への情報提供。			